

やまがた

元氣



農の風

NO.12

株式会社 日々「森の家」「リンゴリラっぱ」

代表取締役 佐藤 春樹さん

伝承野菜を磨き 育ててブランド化
人と環境にやさしい持続可能な農業に挑む

経営のきっかけ・こだわり・思いをお聞かせください。



佐藤代表は、小学校で農作業体験や講演を行うなど、地域貢献活動にも取り組んでいます。

佐藤家に伝わる収量が低く手間もかかる伝承野菜の里芋「甚五右エ門芋」を絶やすことなく、その美味しさを多くの人に知ってもらいたく12年前に就農しました。

品質と価格を守るために、徹底したブランド化を図るとともに、事業規模を拡大していく中で、令和元年に(株)日々(ひび)を設立しました。会社は、甚五右エ門芋と大豆を扱う「森の家」、加工用リンゴ、リンゴジュース等を扱う「リンゴリラっぱ」の2部門からなっています。

取り扱う作物は全て有機栽培基準に合わせた栽培をしており、自然環境に左右されるため栽培は大変ですが、環境にやさしい農業を心がけています。

農業の魅力や販売の工夫
についてお聞かせください。

自ら販売しているため、直にお客様の反応と声を聞けることが、やりがいであり喜びです。品質の良い作物を作るとはもちろんです、日本で唯一という商品づくりのため「誰に届けたいのか？」と常に想像して、魅力あるパッケージや、商品展開に取り組むことを大切にしています。



甚五右エ門芋 栽培の様子 (写真提供: 株式会社日々)

伝承野菜農家 森の家 <https://www.morinoie.com>
リンゴリラっぱ <https://www.ringorillappa.jp>今後の経営目標や夢、
将来展望をお聞かせください。

ジュース加工や発砲酒の醸造を行うため、醸造所と売店を整備したいと考えており、リンゴの栽培面積を増やし、酒類製造免許の取得を目指しています。

人が集まれる場所も提供したいし、販路拡大のため、ジュースの輸出にも興味があります。色々チャレンジしたいですね。



甚五右エ門芋 と 加工用リンゴ (写真提供: 株式会社日々)